

平成29年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立明保中学校

●全国学力学習状況調査(小6・中3)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	語句の意味を理解し、文脈の中で正しく使う(敬語)	78.1	2年次に敬語については学習をしたが、決まった敬語以外は用いる場面が少なく、学習が身につけていなかったということがわかる。	日常的な場面で敬語を用いるような機会を意識的につくることと反復練習を折々に加えていく。
算数・数学	統計結果に基づき、自分なりの推論をたて説明する。	23.8	統計結果を多面的にとらえ、自分の考えや意見を発表することを苦手とする傾向が見られた。	生徒の興味関心をひき、統計の良さを認識できるような課題と資料を準備し、仲間の意見を聞き学び合える授業を展開する。

●児童・生徒の学力向上を図るための調査(小5・中2)

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解すること	60.8	場面や表情、あるいは筆脈を脳内で細やかに再現する力に課題がある。	思考の手順に時間をかけることを継続しながら、デジタル教材に適切なものが出てくれば、それも適宜利用していく。
	楷書と行書との違いを理解すること	50		
算数・数学	題意を読み取り必要な情報を取捨選択すること	25.8	意図の背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力が不足していると考えられる。	グループ学習を中心に積極的な意見交換を行う能動的な指導方法の改善を目指す。
	状況に応じて文字式を利用すること	7.5		
理科	柱状図と地形の特徴から地層の傾きを据えること	18.3	読み取る力について課題があることがわかった。理解することについての知識も不十分であった。	授業においてグラフや表などの資料を使用する機会を増やし、さらに話し合い活動を通じて情報交換することで読み取り能力の向上に努める。知識に関しては定着するように演習問題を増やす。
	光の反射と屈折について理解すること	20		
	入射角について理解すること	22.5		
社会	資料活用技能(地図を使い分けて理解すること)	15	資料を読み取る力と資料から思考し、判断する力が欠けている。	問題に正答率の低さが目立った。グラフ等の資料を授業で提示し、読み取る機会を増やす。そのためにデジタル教材等のICTを取り込んだ授業を積極的に行う。
	社会的な思考・判断・表現(雨温図の特徴を理解すること)	12.5		
	社会的な思考・判断・表現(年表から出来事の流れを理解すること)	31.7		
英語 ※中学校のみ	まとまりのある英文を聞いて、詳細を聞き取る	24.20%	まとまりのある英文を聞いて、概要を聞き取る問題では、98.3%の生徒が正答した。また、相手の話を聞き、積極的に応答しようとしているかをみる問題では、97.5%の生徒が正答した。	まとまりのある英文を聞いたり、読んだりして、大まかな趣旨を理解することができるのに対し、詳細を理解したり正確な文法を用いて書くことに課題が見られた。情報を細かく聞き取るトレーニングや学習した文法を用いて英文を書くトレーニングが必要である。
	伝えたい内容を正確な英文で書く	34.20%		
	複数の情報を基に結論を導き出す	36.70%		